

(お知らせ)

平成28年9月30日
四国電力株式会社

伊方発電所1号機および3号機の定期安全レビューの実施について

当社は、伊方発電所1号機および3号機について、定期安全レビュー^{*}を実施し、その結果を取りまとめました。

今回のレビューは、平成18年1月から平成26年12月までを評価対象期間とし、伊方発電所1号機および3号機において、保安活動が継続的に改善され、安全性・信頼性の維持・向上が図られていることを確認しました。

※： 定期安全レビューは、法律に基づき、定期的（10年を超えない期間ごと）に「原子炉施設における保安活動の実施状況」および「原子炉施設における保安活動への最新の技術的知見の反映状況」を評価する活動です。

前回のレビューは、以下のとおり。

- ・H18年9月 伊方発電所1号機 第2回
- ・H18年9月 伊方発電所3号機 第1回
- ・H23年3月 伊方発電所2号機 第2回

(添付資料)

- ・伊方発電所1号機および3号機 定期安全レビューの概要

以 上

伊方発電所 1 号機および 3 号機 定期安全レビューの概要

1. 定期安全レビューの位置づけ

原子力発電所の定期安全レビューとは、10年を超えない期間ごとに次の項目について評価するものです。

- ① 保安活動の実施状況の評価
- ② 保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価
- ③ 確率論的安全評価（事業者自主で3号機のみ実施。）

2. 評価結果

今回の定期安全レビューにおいては、前回の定期安全レビューの評価期間以降の平成18年1月から平成26年12月までを対象期間として、評価を行いました。その結果、各保安活動が継続的に改善されるとともに、これまでの運転経験で得られた教訓や最新の技術的知見が保安活動に適切に反映され、安全性・信頼性の向上が図られていることを確認しました。

<定期安全レビューの結果>

項 目		評 価 結 果
①	保安活動の実施状況の評価	「品質保証活動」、「運転管理」、「保守管理」、「燃料管理」、「放射線管理」、「放射性廃棄物管理」、「緊急時の措置」、「安全文化の醸成活動」の8分野の保安活動について、実績指標のトレンド等々を評価し、各保安活動が継続的に改善され、安全性・信頼性の維持・向上が図られていることを確認した。
②	保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価	軽水炉の安全性・信頼性に関連する重要な技術的知見である「国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓」や「安全研究成果」等の最新の技術的知見が保安活動へ適切に反映され、安全性・信頼性の維持・向上が図られていることを確認した。
③	確率論的安全評価 (3号機のみ実施※)	プラント運転時における炉心の健全性を評価した。その結果、前回(H18)の評価に比べて、空冷式非常用発電装置の設置や自己冷却式充てんポンプによる炉心注水の安全対策等により、炉心損傷に対する安全性が向上したことを確認した。

※1号機に関しては、平成28年5月10日に運転を終了したことにより、確率論的安全評価をとりやめた。